

桑地域



ごあいさつ	142
1 まちづくりの将来像	143
2 地域のすがたと財産	144
3 地域の現況と課題	146
4 地域のまちづくりの整備目標	148
5 地域整備方針	150

ごあいさつ



思川



喜沢の住宅地



いきいきふれあいセンター「桑」



大沼水辺公園



琵琶塚・摩利支天塚古墳



素案がまとまって記念撮影

私達の桑地域は小山市の北に位置し、国道4号沿いに市街地が形成されており、その市街地を囲むように、田園風景や里山の緑、思川・大沼などの水辺空間が広がっています。また国指定文化財である琵琶塚・摩利支天塚古墳をはじめ、古代ロマンや自然を身近に感じ、体験できる財産を数多く有しています。平成15年12月には地域コミュニティ*の一体化に寄与する施設として、いきいきふれあいセンター「桑」が開所され、その活用に期待が寄せられているところでもあります。一方で、既成市街地における生活基盤整備や田園集落整備、平地林*等の自然環境の保全・活用など、一定の課題もみられます。

今回の都市計画マスタープラン策定にあたっては、検討会メンバーの皆様にご協力いただき、様々な議論を重ねながら、明るく魅力的な桑地域の実現に向けた構想をここにとりまとめることができました。何より、便利で住みよいまちと美しい田園・自然環境との調和に留意しつつ、地元と行政が協調しながらまちづくりに取り組んでいくことが大切と考えます。

最後に、関係者の皆様にご挨拶の言葉とさせていただきます。

桑地域まちづくり検討会 座長 笠松 三男

副座長 上野 直正 副座長 三国 佳子

青木 愛	秋山 祐興	浅川 定雄	飯泉 久男
五十嵐知恵	稲葉 正雄	岡田 太平	小山 隆幸
重田 茂勝	篠崎 清次	末柄 武夫	高橋 サイ
長瀬 俊行	野口 周男	福田 洋一	本橋 清治

*敬称略：五十音順

【地域別構想検討の経緯】

- ・第1回 全体会議 [平成15年 2月 2日：中央市民会館]
- ・第2回 地域別会議 [平成15年 3月 9日：桑公民館]
- ・第3回 地域別会議 [平成15年 6月21日：桑公民館]
- ・第4回 地域別会議 [平成15年 9月 6日：JA桑支店]
- ・第5回 代表者会議 [平成15年12月 6日：小山市役所会議室]
- ・第6回 地域別会議 [平成15年12月20日：桑公民館]
- ・第7回 地域別会議 [平成16年 4月24日：いきいきふれあいセンター「桑」]
- ・第8回 全体会議 [平成16年 7月 4日：県南体育館]

1 まちづくりの将来像

地域別検討会の大切な成果のひとつとして、みんなで考え、つくったまちづくりのテーマとキャッチフレーズです。

■ キャッチフレーズ

ホラ！里山と水辺とふれ「愛」感じよう！

いにしえロマンと

大地の恵みを語り継ぐ 桑地域

●里山と水辺

： 地域の特長である里山の緑、思川や大沼をはじめとする水辺空間など、子供達が自然に親しみ、学べる豊かな環境をあらわしています。

●ふれ「愛」

： 地域コミュニティ* に大切な「ふれあい」と、愛に関する言い伝え（物語）や羽川小前の歩道橋（愛の橋）などから、地区に縁のある「愛」とをかけあわせています。

●ホラ！／感じよう！

： 話しかける口調で親しみのある個性的なキャッチフレーズとするとともに、桑地域に来て自然やふれあいの気持ちを実際に感じてほしいという気持ちをあらわしています。

●いにしえロマン

： 古墳群や旧日光街道を有する地域の誇れる歴史をあらわしています。

●大地の恵み

： 田園地帯で収穫される農作物などをあらわしています。

●語り継ぐ

： 歴史が語り継がれてきたように、桑地域のまちづくりも人々によって着実に継続されていくことを願う表現としました。

■ まちづくりのテーマ

国道4号沿いを中心とするまちに
恵まれた自然や古代ロマンを感じ 体験できる 豊かな環境
自然を活かしたレクリエーション空間には人々が憩い
工業団地は小山の活力を支える

小山の「北の玄関」としての位置づけもみすえながら
新旧のコミュニティ* が一体となって
自然と調和した 魅力的な生活の舞台を
みんなでつくり・支え・育てていく 桑地域のまちづくり



半田川岸周辺の農地



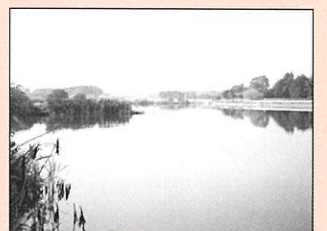
新4号国道



羽川の住宅地



地域の里山（学習林）



山田沼



大日山美術館

2 地域のすがたと財産

■ 地域の主な財産など

※各写真の番号は右図の番号に対応しています

□ 地域の公共施設など
(※印はおやま百景)

【行政機関】

・ 桑公民館

【福祉関連施設】

・ いきいきふれあいセンター
「桑」

【学校教育施設】

・ 小山北桜高校
・ 桑中学校
・ 羽川小学校
・ 萱橋小学校

【都市計画公園（運動公園）】

・ 小山運動公園※

【歴史的資産など】

・ 愛の橋※
・ 青木家の四脚門
・ 一里塚
・ 檀原神社
・ 旧日光街道
・ 白髭神社※
・ 日枝神社（参道のケヤキ）※
・ 琵琶塚・摩利支天塚古墳※
・ 道標（鯉節棒杭）※

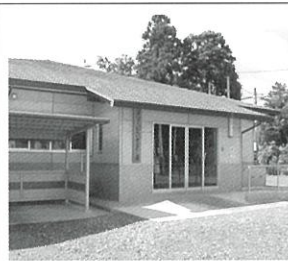
【その他】

・ 大沼水辺公園
・ 桑消防分署
・ 小山羽川郵便局
・ 小山扶桑郵便局
・ JA桑支店
・ 小山遊園地
・ 小山温泉思川
・ 大日山美術館
・ 祈りの家（旧修道院）※



1. 桑公民館

地域コミュニティ活動の中心拠点施設。



2. いきいきふれあいセンター「桑」

新たな地域交流拠点施設。



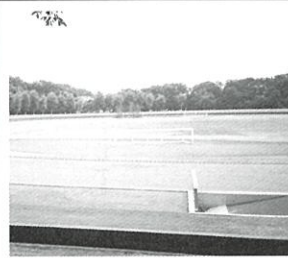
3. 小山遊園地

広く知られる遊園地。小山駅から循環バスも運行中。



4. 小山温泉思川

思川を望む四季折々の絶景が贅沢な時間を演出。



5. 小山運動公園※

自然が豊かで施設も充実した市民スポーツの拠点。



6. 大沼水辺公園

貯水機能と憩いの場として整備された水辺空間。



7. 思川

黒本橋や姿川との合流地点からの景観が美しい。



8. 旧日光街道

新田宿の四脚門とともに、当時の面影を残す。



9. 新4号国道

南北方向の広域連絡機能を担う主要幹線道路。



10. 琵琶塚・摩利支天塚古墳※

古代史を物語る県内最大級の前方後円墳。



11. 日枝神社※

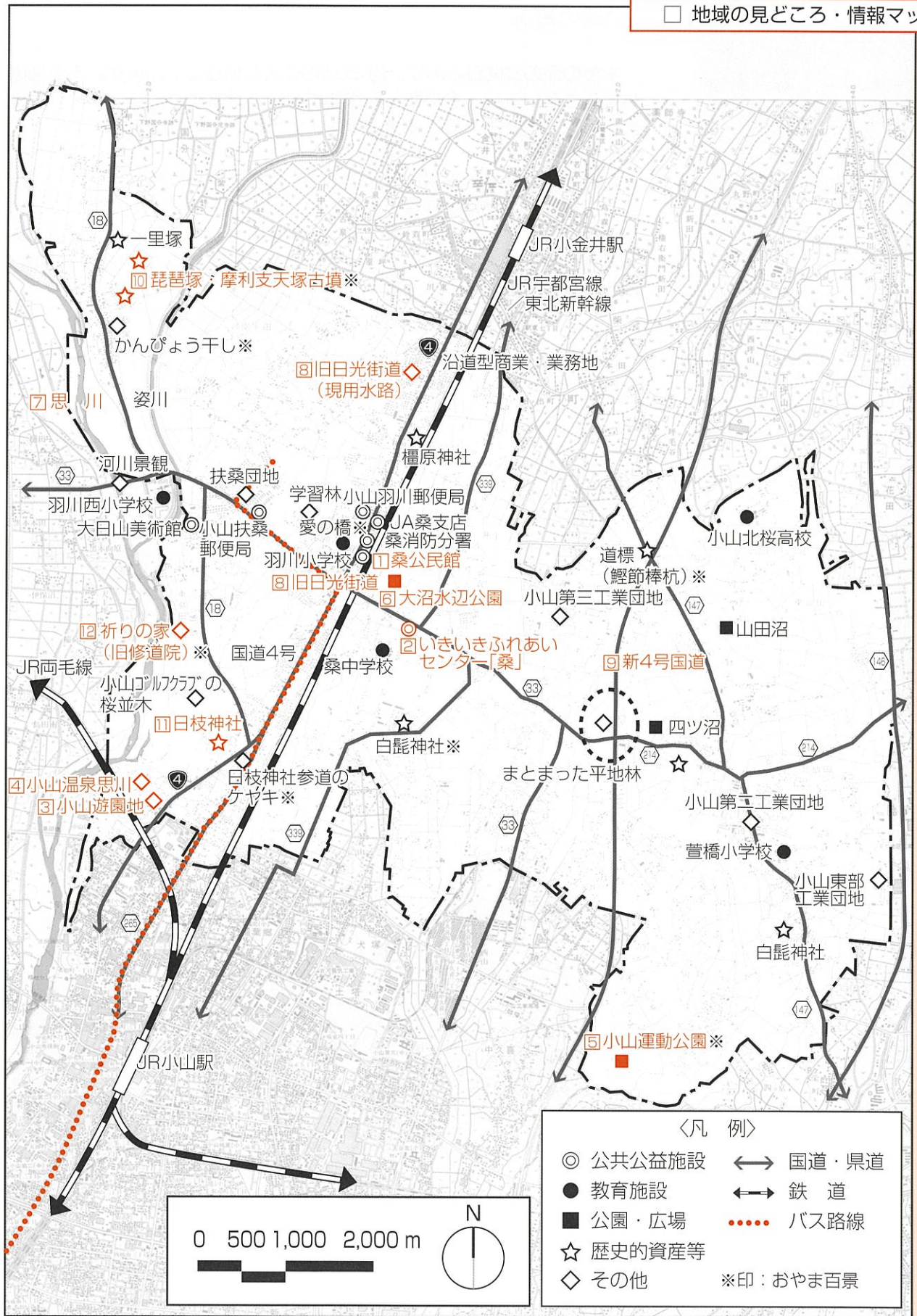
喜沢分岐点近くに位置。参道には3本の大ケヤキ。



12. 祈りの家（旧修道院）※

市の花に指定された「思川桜」発祥の地。

□ 地域の見どころ・情報マップ



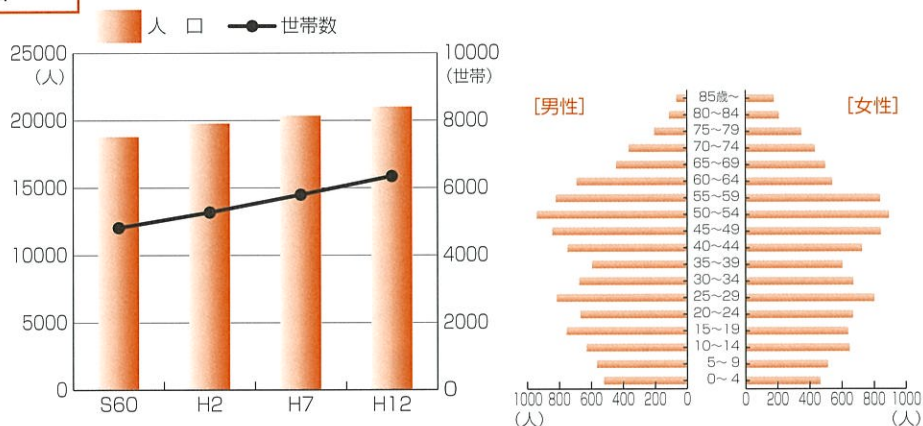
3 地域の現況と課題

1) 地域の概況

本市の北の玄関口であり、約 20,000 人が居住しています。市街地の外延化に伴い人口・世帯数とも増加傾向にあります。一方、年齢階層別にみると、男女とも 40 歳代～ 50 歳代が占める割合が最も多くなっています。

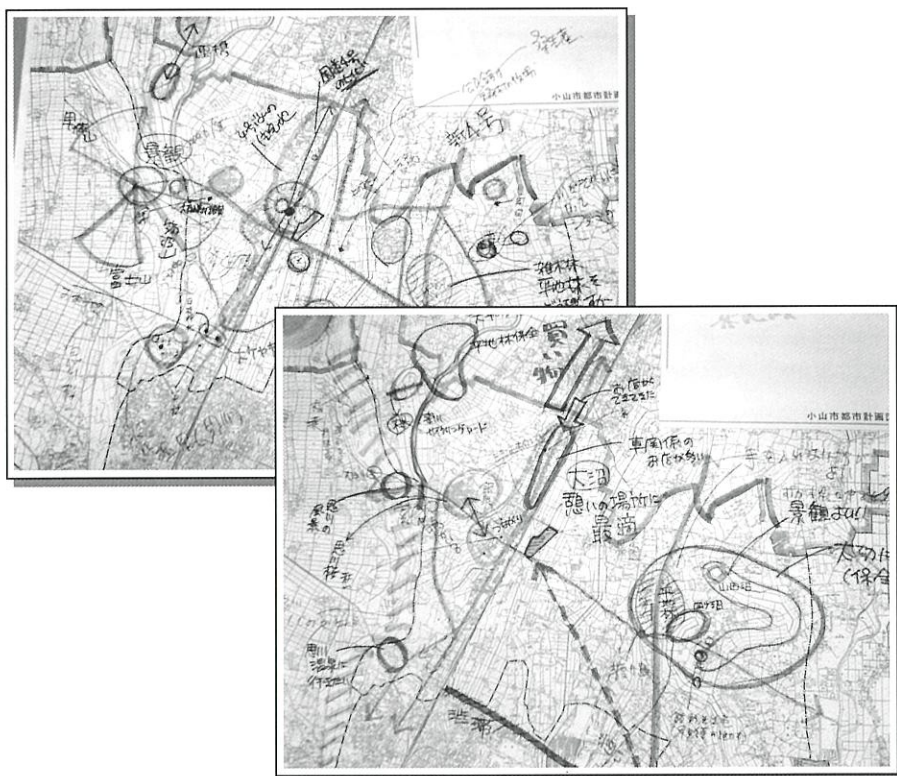
地域を国道 4 号、新 4 号国道及び JR 宇都宮線が縦断し、住宅地のほか、国道 4 号沿道には商業・業務施設が、新 4 号国道東側には、3 つの工業団地が立地しています。市街化調整区域* には畑地や里山とともに集落地が点在し、思川や大沼等の水辺空間や、国指定文化財である琵琶塚・摩利支天塚古墳を有しています。

□ 人口の推移・5 歳階級別人口



□ ワークショップ結果 (情報地図)

【情報地図の作成】 → p24



2) 現況と課題

■ 土地利用

- ・主に国道4号に沿って住宅主体の市街地が形成されており、一部には沿道型商業・業務地としての利用もみられます。
- ・市街地の周辺を広大な農地・集落地・平地林* が取り囲んでおり、その中に扶桑団地や工業団地が整備されています。
- ・地域南部にはレクリエーション拠点となる小山遊園地・小山温泉思川が立地しています。
- ・羽川や喜沢などの既成市街地では、道路や公園等の都市基盤整備が課題となっています

■ 道路・交通

- ・都市計画道路* や外環状線など、市全体や地域の骨格となる道路網の形成が必要です。
- ・生活道路等における歩行者の安全性確保が望まれています。
- ・喜沢・羽川南部及び扶桑団地周辺を除いて、バス等の公共交通機関がなく、移動利便性の向上が課題となっています。
- ・羽川地区においては、公共交通手段の確保等による移動利便性の向上が強く望まれています。

■ 公園・緑地

- ・大沼水辺公園が整備されており、地域の憩いの場として活用されています。
- ・子供達が遊べる身近な公園の整備や適切な維持管理が望まれています。
- ・思川とともに、琵琶塚・摩利支天塚古墳など周辺の資産をまちづくりに上手に活用していくことが望まれています。
- ・平地林* (里山) の緑や水辺空間を保全し、子供達が身近な自然と触れあう場として活用していくことが望まれています。

■ 自然・景観

- ・思川の美しい河川景観を保全・活用していくことが大切です。
- ・小山市の北の玄関口としてふさわしい景観整備・魅力化が望まれます。
- ・市街地や集落などの地域特性に応じて、美しいまちなみ景観の形成に努めることが大切です。

■ 公共公益施設・供給処理施設・その他

- ・喜沢・羽川地区の市街地において、公共下水道* 整備が進められており、その推進が期待されています。
- ・集落の人口増加が乏しく、また人口が減少している集落もあるため、現在の田園環境を守りつつ、新たな居住を可能とする方策が必要です。

4 地域のまちづくりの整備目標



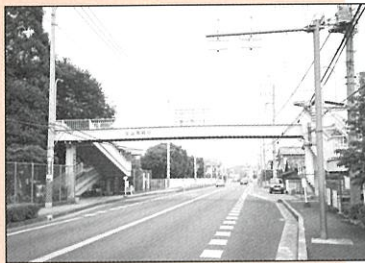
● 市街地の良好な居住環境の形成

喜沢地区・羽川地区などの既成市街地について、国道4号沿道の商業・業務地等との調和を図りながら、また地区計画制度*の適用など、地元で支えるまちづくりを念頭に置きながら、道路や公園、公共下水道*といった都市基盤整備による緑豊かで良好な居住環境の形成を進めます。



● 自然資源や農業環境と調和した良好な集落環境の形成

農地の保全、農業生産環境の向上に努め、一定の立地基準緩和に沿って、新たな活力や地域コミュニティの創出を図るとともに、既存集落を中心とする緑住集落地として生活環境の向上・改善を促進することで、緑豊かで快適な定住型集落環境・田園景観の形成を図ります。



● 地域生活の利便性を高める移動交通環境の向上

国分寺町方面から小山市への玄関口としての位置づけ等をふまえながら、国道4号等幹線道路網の整備推進とともに、日常生活の軸となる道路網の整備を進めます。あわせて、コミュニティバスなどの公共交通網の充実や羽川地区における交通拠点（まちの駅*）の整備検討によって、市内主要施設や鉄道駅、地域間における移動交通環境の向上を図ります。



● 自然景観や歴史的資産の保全・活用と公共公益施設等の充実

思川などの水辺空間や里山の緑といった美しい自然景観、また琵琶塚古墳等の歴史的資産を保全するとともに、思川を軸とする市全体における資源ネットワーク*としての位置づけをふまえながら、自然環境・歴史文化の拠点として整備・活用していきます。あわせて、身近な公園や公共公益施設等の適正配置、機能充実とともに、それらのネットワーク化によって、便利で誰もが利用しやすい施設環境の向上を図ります。



● 工業団地における活力基盤の維持と周辺環境との調和

小山市の活力を支える地域内の工業団地について、その基盤整備とともに、沿道空間や敷地内の緑地など、周辺の田園環境との調和に留意した、適切な環境整備と良好な景観の創出を図ります。

□ 桑地域まちづくり目標図



5 地域整備方針

■ 土地利用

□対応する主要整備方針イメージ

02・P172◀

04・P172◀

18・P176◀

22・P177◀

23・P177◀

05・P173◀

19・P176◀

22・P177◀

23・P177◀

20・P176◀

● 良好な居住環境や市街地環境の形成と維持・向上

土地利用の状況や都市基盤整備の状況等に応じて効果的な手法を用いながら、周辺環境と調和した良好な市街地環境の形成とその維持・向上に努めます。その際は、地元と協調・協働* しながら、また必要な支援等を行いながらまちづくりを進めていきます。

- 羽川地区における地区計画制度* を活用した総合的かつ計画的な生活環境整備の推進
- 喜沢地区などの一般住宅地における、地元と協調した総合的かつ計画的な生活環境整備の検討
- 羽川地区の国道4号沿道など、沿道型の商業・業務施設や軽工業施設等の適正な立地誘導
- 小山遊園地周辺における、拠点都市型レジャー機能の充実と機能更新、及びその周辺環境保全
- 扶桑団地における良好な居住環境の維持・向上と市街化区域* 編入可能性の検討
- 小山東部・小山第1及び第2工業団地における、周辺環境との調和に配慮した適切な機能集積と高度化の促進
- 国分寺町や市内他地域からの入口部分の整備検討 等

● 豊かな田園生活環境の充実と優良農地の保全

既存集落は、その形態を活かしながら、また一定の立地基準に基づく区域指定をふまえながら、生活環境の向上・改善を促進するとともに、自然環境と調和した美しい田園景観の形成を図ります。

- 優良農地と豊かな里山・社寺林等の保全及び育成
- 既存集落地における便利で美しい生活環境の向上・改善
- 美しい田園景観の創出 等

● 自然環境に配慮した土地利用

思川や姿川の水辺空間を保全するとともに、里山・平地林* などの豊かな緑地環境について保全を図る拠点ゾーンとして位置づけるなど、豊かな自然環境の維持・保全を図ります。

- 思川及び姿川と周辺の自然環境の保全・活用
- 地域内のまとまった平地林* の保全・育成（平地林* 保全の拠点ゾーン）
- 里山や沼など、身近にふれあえる貴重な自然の保全・育成 等

■ 道路・交通

● 小山市全体や地域の骨格を形成する道路網の整備・充実

広域的なつながりや周辺地域との関係を念頭に置きながら、地域内の円滑な交通処理、交通サービスの向上を図るため、地域の骨格となる幹線系の道路について、それぞれの機能や役割を分担する段階的・計画的な道路網の整備を進めます。

- 環状道路（内環状線・外環状線）の整備推進
- 国道4号等の幹線道路や都市計画道路* の整備推進 等

▶ 05・P173

▶ 06・P173

● 安全で人に優しいバリアフリー* 環境と自転車回遊型ネットワーク* の形成

市街地において、また豊かな自然や歴史を身近に感じながら、徒歩や自転車などの方法で移動できるネットワーク* の形成に努めます。

- 補助幹線道路や身近な生活道路等の整備推進
- 歩行者の安全性確保やバリアフリー* への配慮
- 既存住宅地内におけるフットパス等の整備による効果的・効率的な歩行者ネットワーク* 形成の検討
- 思川河川敷のサイクリングロードなど、自転車利用環境の整備検討
- 「愛の橋」のシンボル化検討 等

▶ 06・P173

▶ 09・P174

▶ 10・P174

● 公共交通網の整備等による便利な交通ネットワーク* の形成

誰もが快適かつ便利に移動できるよう、コミュニティバス* などの公共交通機関の整備拡充に努めます。

- 小山駅周辺や主要な公共施設、周辺地域などを連絡するコミュニティバス* 等の整備拡充
- 地域の交通拠点となる「まちの駅*」の整備検討（羽川） 等

▶ 12・P174

▶ 14・P175

■ 公園・緑地

15・P175◀

16・P175◀

17・P176◀

● 思川を軸とする「水と緑と大地のネットワーク*」の形成

小山北ゾーンとしての位置づけの中、思川とともに育まれてきた豊かな自然環境や誇れる歴史的資産を保全するとともに、小山の個性をあらわす拠点として整備・活用を図っていきます。またこれらの誇れる財産を連絡するネットワーク* 形成を図ります。

- 大沼や小山運動公園など、自然環境の拠点整備
- 琵琶塚・摩利支天塚古墳における歴史文化の拠点整備
- 身近な歴史的資産の保全とまちづくりへの活用
- 周辺地域等とあわせて、自然環境の拠点や歴史文化の拠点等を連絡するネットワーク* の形成 等

● 身近な公園等の適正配置とその整備・拡充

生活に身近な都市公園* について、市全体のバランスや都市基盤の整備状況などをふまえながら、適正かつ効果的に配置するとともに、その整備・拡充に努め、緑豊かで誰もが心安らぐまちなかの整備を進めます。

- 下田公園の整備
- 扶桑第1・第2公園の維持管理
- 神社付帯遊園や四ツ沼・山田沼等の活用 等

● 地域住民等と協調した宅地内及び沿道空間の緑化推進

地域にお住まいの方々と協調しながら、宅地内緑化の誘導や沿道空間の緑化を図るとともに、適切かつ効果的な維持管理方法を検討し、取り組んでいきます。

- 地区計画制度* 等を活用した生垣・宅地内緑化の誘導
- 道路の里親制度等の活用による市民と協調した沿道緑化の推進
- 豊かに広がる平地林*、里山や集落部の社寺林等、自然を体験できる緑地空間の保全・育成 等

18・P176◀

■ 都市景観

● 思川沿いの自然景観や幹線道路における水と緑の景観軸の形成

本市を縦断する母なる思川の清流と自然景観を守るとともに、地域間をつなぐ主要な軸となる幹線道路について、沿道の緑化や小山市への玄関口となる結節点の魅力化など、水と緑のうまいある景観軸の形成に努めます。

▶ 02・P172

▶ 20・P176

- 思川や姿川の清流や河川樹林などの緑の保全
- 国道4号や外環状線など、幹線道路沿道の緑化推進と市民と協働した維持管理
- 新4号国道・国道4号のまちの境界部分の魅力化検討 等

● 住宅地や商業・業務地などの地域特性に応じた

魅力的なまちなみ景観の形成

公共空間の緑化にあわせて、宅地や商業・業務地、工業・流通業務地といった地域の特性に応じて、周辺環境との調和に配慮した良好なまちなみ景観の形成・維持に努めます。

▶ 04・P172

▶ 18・P176

- 羽川地区等における、地区計画制度*の適用による緑豊かで整った住宅地景観の誘導・維持
- 工業団地の緑化推進等による周辺環境と調和した工業地景観への誘導・維持
- 幹線道路沿道の商業・業務地等における、周辺環境と調和した活気とうまいある景観の誘導・維持
- 小山遊園地北側地区及び南地区における、地区計画制度*による健全な商業市街地の形成・育成 等

● 田園と調和した美しい集落景観の創出

比較的まとまって広がる平地林*や里山の緑と田園景観を大切に育てていくとともに、これらの自然景観と調和した美しい集落景観を保全・育成していきます。

▶ 19・P176

- 平地林*や里山、集落地内の社寺林等、自然景観の保全・育成
- 美しい田園景観の創出とその保全・育成 等

■ 都市防災

● 雨水処理機能の向上や安全な防災施設の確保等

市街地における公共下水道*の整備等、雨水排水に関する整備推進により、雨水処理機能の向上を図ります。また建築物の不燃化・耐震化促進とともに、安全な都市基盤形成に係る道路・公園等の整備、延焼遮断帯機能の向上やライフライン*の確保など、都市の防災性向上に努めます。あわせて安全な避難施設の整備と防災体制の改善・整備を図ります。
【個別方針は全体構想編参照】

■ 河川・供給処理

● 河川等の治水・保全や

清潔で安全な生活を支える供給処理施設の整備・充実

思川及び姿川は、河川整備や総合的な治水対策を行うとともに、貴重な自然として市民が水に親しめるような空間を創出していきます。また公共下水道*や農業集落排水の計画的な整備を推進するとともに、ごみの減量化・リサイクル化など、環境汚染防止と自然環境保全に努めます。
【個別方針は全体構想編参照】

20・P176 ◀

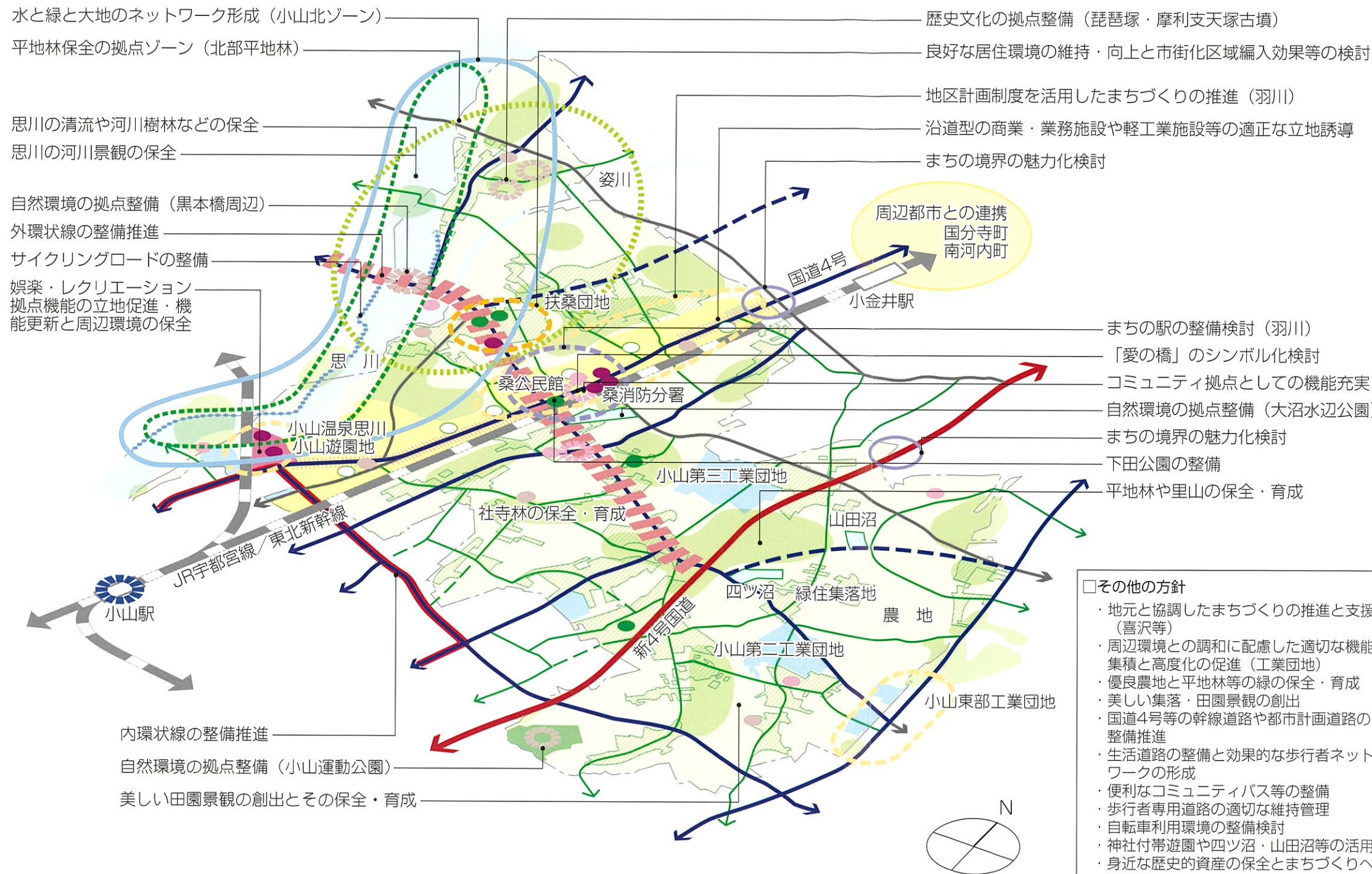
■ 公共公益施設

● 地域コミュニティ*の拠点となる公共公益施設等の適正配置、機能充実及び維持管理等

市民生活を支える行政サービスの提供に加え、地域に身近でコミュニティ*活動の拠点となる公共公益施設について、小山市全体のバランスを考慮しながら、また既存施設を有効に活用しながら適正配置を図るとともに、その機能充実と地域と協調した適切な維持管理に努めます。また、これらの施設及びその周辺においては、バリアフリー*に配慮した整備を進めます。

- 桑公民館のコミュニティ拠点としての機能充実
 - 学校教育・地域活動関連施設等の整備・機能充実
 - 公共施設等の総合的利便性を向上するネットワーク機能強化
 - 公共施設等のバリアフリー化推進
- 等

□ 桑地域まちづくり整備方針図



□ その他の方針

- ・地元と協調したまちづくりの推進と支援 (喜沢等)
- ・周辺環境との調和に配慮した適切な機能集積と高度化の促進 (工業団地)
- ・優良農地と平地林等の緑の保全・育成
- ・美しい集落・田園景観の創出
- ・国道4号等の幹線道路や都市計画道路の整備推進
- ・生活道路の整備と効果的な歩行者ネットワークの形成
- ・便利なコミュニティバス等の整備
- ・歩行者専用道路の適切な維持管理
- ・自転車利用環境の整備検討
- ・神社付帯遊園や四ツ沼・山田沼等の活用
- ・身近な歴史的資産の保全とまちづくりへの活用
- ・里山や沼など、身近にふれあえる貴重な自然の保全・育成
- ・適切で良好なまちなみ景観の誘導・維持
- ・道路の里親制度等の活用による市民と協調した沿道緑化の推進
- ・幹線道路沿道の緑化推進と市民と協調した維持管理
- ・学校教育・地域活動関連施設等の整備・機能充実
- ・公共施設等のバリアフリー化とネットワーク機能強化

□ 地域の主な断面構成と方針

